

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「スクールESDくさつ」「英語教育草津のStandard」「New草津型アクティブラーニング」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

【学校 目標】

○学びをひろげ 心ゆたかに 人とつながろう
合言葉「もっと老上 ずっと老上 This is OIKAMI」

【現状と課題】

○**視点1** 校内研究である「読み解く力を発揮する」子どもの育成に関し、目的意識を持って、必要な情報を発見・蓄積できつつある。しかし、物事を多面的・多角的にとらえ、分析・整理するプロセスに課題が見られる。
○**視点2** スクールESDの視点に立って、子ども自らが課題を解決し、発信・行動できる総合的な学習の時間を模索しながら、取り組んでいく。
○**視点3** 人権教育を基盤とし、OJLを分掌に位置づけ、中堅～若手教員のスキルアップを目指していく。今年度は、校内研究テーマと歩調を合わせて、回数をより精選した取り組みを行っていく。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○単元全体を通して、ICT機器を効果的に活用し、学習構想を組み立てていく。	・児童アンケート「授業がよく分かる」90%以上		
	・児童アンケート「ICT機器を使った授業は分かりやすい」90%以上		
	・児童アンケート「話し合いによる学習で学びが深まった」90%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○自ら課題解決に取り組む総合的な学習の時間を中心に、「自己肯定感」「行動・発信力」を高めていく。	・児童アンケート「課題を見つけ、自分の力で解決しようとしている」80%以上		
	・児童アンケート「自分にはよいところがある」85%以上		
	・児童アンケート「くじけない心や立ち直ろうとする気持ちをもって生活する」90%以上		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○各分掌担当をきめ細やかに分散することで、それぞれの立場からやりがいを見出し、職務に専念できる環境づくりの基盤をつくる。また、OJLを中心とした中堅～若手教員の資質能力の向上を図る。 ○人権教育を基盤として、組織的な学校体制づくりをすすめる。	職員アンケート「学校目標に向かって、教職員一人ひとりが実践を進め、組織として機能している」4.5以上		
	職員アンケート「教職員の人権感覚を磨く取組がなされている」4.0以上		
	保護者アンケート「特色ある教育活動を行っている」85%以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・学ぶ力向上担当が、職員会議で各視点を説明するとともに、取り組み事項を具体的に協議する。
- ・児童アンケートを中間・後期と2回に分けて行い、学校だよりで保護者に発信する。
- ・中間評価をうけ、改善策を各分掌で検証し、改善策を職員会議で周知する。
- ・長期休暇を利用して、人権・特支・学力・スクールESDの各分掌による研修を設ける。

今年度の取組の成果と課題

--